

公募制推薦選抜[基礎学力テスト型]のサンプル問題について

受験生や高等学校の先生方に問題形式を知っていただくために、過去に実施した全学部一般選抜入学試験問題の一部をサンプルとして掲載します。

「出題方針」とともに今後の学習や指導の参考としてご活用ください。

なお、各教科目の出題範囲は、以下のとおりです。

試験の詳細は、必ず入学試験要項をご覧ください。

教科	科目	配点
外国語	「英語」(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)	100
国語	「国語」(現代の国語, 言語文化(現代文))	100
数学	「数学」(数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B)	100

これは、2025年度全学部一般選抜入学試験2月試験（前期）の試験問題の一部です。

数 学

（国語は別冊子（A）になります）

（A）

令和7年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、受験する科目の解答用紙を使用してください。
2. 解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナを記入し、受験番号および該当する試験日、時限をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
3. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
4. 数学の問題は、2～7ページにあります。試験開始の合図があったら、まずページ数を確認してください。
5. 受験票を試験時間中は、机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
6. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
7. 試験時間中の退場は認めません。
8. 試験時間は60分です。
9. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

数 学

〔 I 〕 次の各空欄にあてはまる数を下記の解答群の中から選びマークしなさい。

解答群の中に適するものがない場合は⓪をマークしなさい。

問 1 不等式 $\left| x - \frac{2}{5} \right| < \frac{19}{5}$ を満たす整数 x の個数は $\boxed{\text{ア}}$ 個である。

問 2 方程式 $x^2 - kx + 4k = 0$ について、 $-2 < x < 2$ の範囲に異なる 2 つの実数解をもつときの定数 k の値の範囲は $-\frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}} < k < \boxed{\text{エ}}$ である。

問 3 $\left\{ \left(\frac{21}{2} \right)^{\frac{1}{2}} - \left(\frac{7}{24} \right)^{-\frac{1}{2}} \right\}^2$ を計算すると、 $\frac{\boxed{\text{オカ}}}{\boxed{\text{キク}}}$ である。

問 4 $\sqrt{56n}$ が整数となる最小の自然数 n は $\boxed{\text{ケコ}}$ である。

注意：分数は既約分数で表すものとし、整数を表すときには分母を 1 としなさい。

$\boxed{\text{ヤユ}}$ のような解答欄で 1 桁の数を解答する場合は、 $\boxed{\text{ヤ}}$ に⓪をマークしなさい。

〔解答群〕

(マーク記号) (答)

⓪		0
①		1
②		2
③		3
④		4
⑤		5
⑥		6
⑦		7
⑧		8
⑨		9

計算用紙

2月試験(前期) 数学 解答

[I]

解答番号	正解
ア	⑧
イ	②
ウ	③
エ	⑩
オ	②
カ	⑦
キ	①
ク	④
ケ	①
コ	④

